

ちいき大好きプロジェクト ～郷土愛を育む「村岡メソッド」の開発～

但馬地域が輩出した日本のペスタロッチと言われた東井義雄。彼の「村を育てる学力」の理念は、現在の教育に通じる。本プロジェクトは、生徒が地域での学びを通して、「村(地域)を育てる学力」等を身につけるとともに、どの地域で暮らしてもふるさとを愛する、未来型人材の育成を行う。

村岡高校のある香美町の魅力

- 山・川・海の豊かな自然環境
- 但馬牛・マツバガニなど豊富なブランド食材
- スキー・登山など多様なアウトドアスポーツ施設

香美町の課題

- 若い世代の流出による人口減少の加速化と少子高齢化の進展
- 地域を支える担い手の高齢化による観光産業等の後継者問題
- 雪不足など気象変化の影響によるスキー以外の魅力づくり

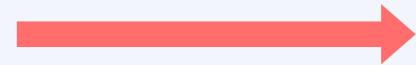
村岡高校の目指す姿

地域を愛し、地域課題の解決に寄与する「人づくり」「地域づくり」

＜研究開発の目標＞ 地域と連携、協働した実践的、体験的な取組が郷土愛を育むとともに、「人づくりネットワーク」を構築し、未来型人材を育成する「村岡メソッド」を開発する。

- ①課題発見能力
- ②課題解決能力
- ③プレゼンテーション能力
- ④新たな価値を創造する能力
- ⑤コミュニケーション能力
- ⑥議論する能力
- ⑦コーディネート能力
- ⑧自己表現能力

地域を知る



- ・観光施設経営者等による講義
- ・地域での調査実習
- ・地域関係者への提案

地域を深める



- ・地域での探究活動
- ・全国の地域づくりを学ぶオンライン研修
- ・スポーツツーリズムの企画、提案

地域を創る

- ・卒業論文「私の地域活性化プラン」の作成・発表
- ・スポーツに関する資格取得
- ・HP・インスタグラムを活用した地域の魅力発信
- ・ふるさと教育教材(ゲーム)によるふるさと教育の推進による郷土愛の育成
- ・町長と将来の町について語り合う



地域を育てる学力を身につけた、地域を愛する未来型人材の育成

＜村高発 地域元気化プロジェクト(全校生)＞ *マラソン大会等イベント行事の中止
5グループ(地域福祉・民芸・食文化・環境・吹奏楽団)の地域協働活動、村高フォーラム(探究活動の成果発表・パネルディスカッション)総合的な探究の時間発表会(校内オンライン)

成果

- ・「つけたい能力」については概ね良好な成果を上げた。
- ・コロナ禍において可能な方法や対象を変更・工夫し、オンライン等の有用性や可能性を認識し、技術の蓄積を図れた。
- ・目標設定シートも「発表する機会」以外は達成。

課題

- ・「つけたい能力」については、類型生徒以外では「プレゼンテーション能力」と「議論する能力」を育成する取組が必要である。
- ・オンラインを活用して、卒業生と連携したコンソーシアム拡大と教育コーディネーター体制の構築を図る。

連携・協力・支援

コンソーシアム構成団体



卒業生ネットワーク構築による関係人口の増加

目指す生徒像

地域の現状を理解し、地域課題発見・解決に寄与する学びから「新たな地域資源を創造する」意欲を持つ生徒。

つけたい能力

具体的取組